加古川教育フォーラム ～心の絆プロジェクト～

百花繚乱

発行者
加古川市立
山手中学校
2024年度
生徒会

２月は、山手中学校の代表として、中学校を出て、他の学校の生徒会といっしょに活動したり、大人の方と話すような機会がありました。生徒会役員にならなければできなかった貴重な経験をお知らせしたいと思います。

皆さんは、加古川市の「心の絆プロジェクト」というものを知っていますか？これは、加古川市内の中学校、小学校の生徒会・児童会を中心にした活動で、みんなの心の絆を深め、誰もが行きたくなる学校・学級づくりを目指そうというプロジェクトです。小学校の児童会も参加しているので、知っている人も多いと思います。もしかすると、小学校の時に参加した人もいるのではないでしょうか。

２月１７日（土）、その発表の場である「加古川教育フォーラム（加古川市民会館）」に、会長と副会長が、山手中学校の代表として参加しました。

そこでは、心の絆プロジェクトの各小中学校の取り組みの紹介と、今年度のテーマの発表をしました。

打ち合わせが始まるとすぐに練習に入りました。会場は市民会館の大ホールです。私は司会を担当しました。緊張感が漂い、成功するのか心配になりました。そんな中、自分の立ち位置や動きの確認をしました。ひとつのミスも許されないプレッシャーを味わいました。

フォーラム開演前になると待機所には市の教育長やＰＴＡ会長がお越しになり、励ましの言葉をかけていただきました。

開演するとプログラムが着々と進み、加古川市の他の代表者たちと協力して自分の役割を果たせました。今までしたことのない大舞台での活動でしたが良い経験ができました。そして、この会が私たち自身で、私たちの学校をより良くするためには必要なことだと感じました。

心の絆宣言

1 笑顔あふれる あいさつをします

友達、家族、先生、地域の人たちに、自分から進んであいさつをすることで、相手の心に染みわたり新しい絆となります。

2 自分のよさと 仲間のよさを 認め合います

自分のよさを知ると同時に仲間の大切さを知り、仲間から学ぶ姿勢を持つことで、様々な課題に取り組みます。

3 いじめを許さない 学校をつくります

いじめは、いじめられた人だけではなく、いじめた人や周りで見ていた人の心も傷つけます。

4 みんなが過ごし やすい環境づくりに 努めます

落ち着きのある過ごしやすい生活環境づくりに努めることで、よりよい生活を送ることができます。

5 仲間・地域・被災地・世界とのつながりを 大切にします

人とつながっていくことで、目には見えない心の絆が広がっていきます。

能登半島地震募金

１月１８日、１９日に「能登半島大地震」の募金活動を行いました。そこで集まった募金を２月７日（水）に会長と福祉厚生部長の２名で、加古川市総合福祉会館の社会福祉協議会に預けに行きました。

会館に入ると、広くて立派な応接室に通されました。そこには理事長をはじめ、４名の担当の方がいらっしゃいました。とても緊張しましたが、いろいろな話を聞くことができました。

例えば、私たちが持って行った募金は、主に義援金と支援金に分けられるそうです。義援金は寄付金が平等に被災者に配布され、支援金は受け取った団体が使い道を決めるそうです。また対象の県を限定しない方法といずれかの県を選ぶ方法などもあるそうです。私たちの募金は、能登半島地震を受けた方々すべての県に届ける事にしました。また私達から、「少しでも役に立ち人々を助けたい」というメッセージを残すことができました。

担当の方からは、「この募金に協力してくれた山手中学校の皆さんに感謝の気持ちを伝えていただきたい。」と言われました。たくさんの募金を被災地に送ることができました。ご協力、本当にありがとうございました。

募金額 ￥49,814

予餞会 生徒会による卒業式

来たる３月８日（金）の午後に「予餞会～三年生を送る会～」を行います。

予餞会（よせんかい）とは、「卒業式などの前に行う、送別の会で、前もって旅立ちを祝う言葉などをおくる会」という意味です。

生徒会では、

「生徒会の在校生による卒業生のための予餞会」

をテーマに、この予餞会を成功させようと、今、一生懸命に企画を考えています。

去年の予餞会は、コロナ禍で、卒業生以外はリモートでした。が、今年は５年ぶりに全校生徒が体育館に集まって行います。生徒会からは、卒業生の皆さんが笑顔になるようなプログラムや、在校生からの心温まる贈り物ができたらなと思います。

卒業生の皆さんにとって中学校生活のひとつの良い思い出になるような予餞会を目指し頑張りますので、ぜひご期待ください。

編集後記

3年生の皆さん、卒業式まで1ケ月を切りました。いい予餞会になるよう一生懸命頑張ります！